

地域ぐるみで農村環境保全活動を推進

中間農業地域

20.石橋のふるさとを守る会（神奈川県小田原市）

- 本地区は、小田原市南西部に位置し、多くの樹園地と農道、排水路が存在し、これらの維持管理は農業者や自治会等の地域住民で行っている。
- 地域共有の資源である農地・水・環境を保全するための活動組織を設立し、農地及び施設の適正管理の他、景観形成として「おかめ桜」を植栽。
- 生態系保全として生き物（ほたる）調査を行い、地域ぐるみで、この資源の保全活動に取り組む。

【地区概要】平成20年度開始

- ・取組面積 23.01ha
（田 0ha、畑 23.371ha）
- ・資源量 農道 12.6km
- ・主な構成員
農業者、非農業者（土地改良区、自治会、公民館、森林組合）

農地維持支払

地域の現状



樹園地農道の補修

○傾斜地帯の樹園地で、農道が網の目のようになり、農道ごとに役員を置き共同で草刈りや点検活動を行っているところがほとんどである。

○費用は、すべて農業者の自費で行っていた。

取組内容



水兼農道の清掃



おかめ桜の植栽

○農用地法面、農道周辺の草刈りや側溝の泥上げを実施。

○生き物調査を実施し、ほたるを始めとした生態系の保全活動に取り組んだ。

効果、課題、今後の展開

○平成20年度から本事業に取り組んでおり、活動の進展にあわせ取組面積を拡充。

○土地改良区、自治会、公民館や森林組合と連携し、樹園地農道の維持管理が図られている。

○遊休農地を活用した農村環境保全活動にて、おかめ桜の植栽などを実施し、地区外の住民を呼び込み、地元の活性化を図った。



役員会
（農地の保全、農道の維持管理について話し合う）